

主月税連

税理士制度が国民、社会から信頼されるための
あるべき姿を提言する
—菅原会長就任挨拶—

Oct.15.2008 No. **151**

全国青年税理士連盟

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-21-12 代々木リビン401
Tel 03(3354)4162 Fax 03(3354)4095

140
141
142
143
144
145
146
147
148
149
150
151
152
153
154

会長就任挨拶

税理士制度が国民、社会から信頼されるためのあるべき姿を提言する



会長 菅原 祥元 (東京)

全国青年税理士連盟の皆様、こんにちは。

第41回定時総会において、会長職に就任いたしました、東京青年税理士連盟の菅原祥元（すがわらよしもと）と申します。その責任の重さを実感し、身の引き締まる思いですが、会員皆様のご期待に応えるべく全青活動に邁進してまいりますので、一年間よろしくお願ひいたします。

私が青税に入会し、7年が経ちます。勉強会や懇親会に参加するにつれ、しだいに仲間が増えていきました。その中で「税理士は納税者の代理人として、納税者の権利を擁護する使命がある」ということを学び、青税に入会した意義を感じました。そして、それは税理士制度について考えるきっかけにもなりました。国民、社会から信頼される税理士制度の更なる発展を目指し、誇りと自覚を持ち提言していく…そして、次の世代に繋ぐべく青税活動をすることが、これからの制度の担い手である私たちの使命と考えます。

東京青税においては「制度」、「研修」、「厚生」を三本柱として青税活動をしてまいりました。全国青税においても青税活動に対する基本姿勢は変わりません。理事会では、忌憚なく意見を戦わせ

て正面からぶつかりあい、懇親会では、全国の税理士の仲間と楽しく付き合っていく。私にとっては全国青税の仲間は、信頼できる友であり、貴重な財産でもあります。そして、税理士制度や税制等法改正の運動には、全国青税の組織としての力が必要不可欠であると痛感しております。

さて、本年度の事業計画につきましては、第一に税理士法改正への取り組みです。税理士法改正にあたっては、まず、公正な資格取得制度の確立を掲げます。これが私の青税活動を支えている信念です。規制緩和の流れの中にあっても、専門家の資格は質的信頼性の担保がなくてはなりません。税理士が世の中から信頼されるためには、納税者と接する個々の税理士が質の高い仕事をすることはもちろんのこと、税理士制度自体が信頼される必要があります。この信頼性のバックボーンとなりうるのが、資格取得制度、資格の更新制度、研修制度などであり、とりわけ、社会から信頼される制度であるためには、公正な資格取得制度であることが不可欠です。税理士法3条の公認会計士や弁護士への資格付与、そして、公正な資格取得制度の確立にあたっての本丸は税理士法8条と考えております。とくに、1項10号の指定研修制度については、即刻廃止すべきです。その他、私たちが常に念頭におかなければならない基本原則は、職業専門家としての納税者の代理人制度、行政からの独立性が確保される制度であります。

具体的な活動内容として、まずは、税理士制度の研究活動を一泊二日で行いたいと考えております。税理士法1条の「税理士の使命」について会員間で共通認識を持ち、これを原点に税理士制度の根幹をじっくり研究したいと考えます。業務独占権、代理権、自治権等、普段じっくりと議論できないテーマを、時間をかけて検討し、今後の改正要望運動の礎となるよう活動してまいります。

次に、納税者権利擁護推進委員会では、前執行部で作成した『納税者権利憲章の制定を』のカラーパンフレットを有効に配布し、引き続き「青税版納税者権利憲章」の国民への周知活動に努めて

No.151 OCT.15.2008

Contents

役員就任あいさつ

会長就任挨拶	2~3
部長就任挨拶・抱負	3~5
2008年度特別委員会	5
全国青税連さいたま大会	
前夜祭	6
第1部 単体会活動の発表	7
第2部 第41回定時総会	8~9
第3部 懇親会	10
総括報告 委員長 古橋猪久磨	11~12
韓国税務士考試会との勉強会	13
秋季シンポジウム in KYOTO案内	14

まいります。また、並行して、国税通則法を納税者の権利擁護の観点から検討し、関係各所に提言いたします。

さらに、税制対策としては、まず、特殊支配同族会社法制の廃止に向け、引き続き運動してまいります。また、相続税、消費税等、抜本的な税制改革論議については、税制改正の動向を注視しながら検討を進めます。政局が不透明な現状ではありますが、昨年に続き国会議員との関係も重視し、私たち税理士の主張だけにとどまらず、国民、中小企業等の声も反映させて陳情活動を行ってまいります。

公益的業務につきましては、昨年同様、他士業と連携し、税務過疎地や災害被災地での税務援助活動、租税教育等、全国青税ですべき活動を検討し、実践いたします。また、今年度も引き続き「全国青年税理士連盟災害対策規則」を検討してまいります。

組織問題に関する取り組みですが、組織拡大については、例年に違わず全国青税に未加入の青年税理士の団体に接触していきたいと考えております。時間的な制約もあるため、全国の地域へとい

うわけにはいきませんが、粘り強く取り組んでまいります。そこでまず、歴代会長等に取材し、過去の経緯や情報について理事の間で共通認識を持ち、戦略を立てて活動いたします。

国際的な活動として、本年度は、2つの委員会を立ち上げました。国際交流特別委員会では、韓国税務士試験会との交流を、より意義のある関係とするための検討をいたします。試験会との交流は、平成9年のソウル大会以降10年になります。その間、時の執行部の努力により、信頼関係が築かれてきました。できるだけこの交流の成果をより多くの会員の皆様にフィードバックできるよう努めます。また、海外視察特別委員会では、諸外国の税理士制度を原則自費にて視察し、全国青税の仲間と肌で実感したいと考えております。視察先や時期については委員会で検討し、理事会にてご提案させていただきます。

私は本年度の事業遂行にあたりまして、何より各単位青税との信頼関係を大切に考え、協力して、国民のための税理士制度の更なる発展を目指し全力を尽くす所存です。会員ならびに理事の皆様のご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。

部長就任挨拶・抱負

総務部



部長 坂爪 勸

(東京)

この度、総務部長を仰せつかりました東京青税の坂爪と申します。思えば7年ほど前、東京青税渋谷部会で菅原会長と出会って以来共に青税活動をしてきました。当時は、自分が全国の部長職に就くなどということは

思いもありませんでした。青税の先輩からは度々聞いておりましたが、2年前に東京青税で菅原執行部の総務部長となり、全国青税の活動に徐々に参加するようになったあたりから自分でもその重要性を感じるようになり、同時に名古屋が非常に近く感じるようにもなりました。その全国青税の執行部として活動できることは身が引き締まる思いがあります。

総務としては、理事会・総会の運営や、ぜんせいだよりの発行、各単位青税、各部・各委員会との調整などが主になると思いますが、理事の皆様からご意見をいただき、出来るところから少しずつでも改善していこうと思っております。

菅原会長の全青にかける熱い

思いが形になるよう努力していきたいと思っています。

1年間どうぞよろしくお願い致します。

経理部



部長 大沼 はるみ

(神奈川)

本年度、経理部長を仰せつかりました大沼です。

菅原会長の新事業年度の事業

活動が円滑に実現するように経理面からお支えし、会員の皆様からお預かりした大切な会費を適切に管理するよう務めてまいります。

お恥ずかしながら、昨今の大幅な改正もあり、顧問先の公益法人会計に四苦八苦しておりましたので、これを機会にしっかりと勉強させて頂こうとも思っております。

一年間どうぞよろしく願い致します。

研究部



部長 佐藤 豊和

(岐阜)

今年度、研究部長を拝命いたしました岐阜青税の佐藤豊和と申します。

昨年度、初めて全国青税のほうに理事として参加させていただき、同時に広報部ホームページ運営委員長というお役目をいただきました。軽い気持ちで受けたのですが、勢いで川崎前会長にホームページのリニューアルを進言してしまった手前、やっつけ仕事もできず思いのほか大変でした。そしてリニューアルも終えた春先、安心して役目を終えられそうだと一人安堵しておりました。

そのつかの間の気の緩みがいけなかったのでしょうか。とある

酒宴の席で「次期の研究部長をやってくれないか」と誰かが耳元でそっと囁いたような気がします。私は酒が入ると、断ることができません。素面でもあまり断れない性格なのですが、酒が入ると即答です。「いいですよ！いっぱい研究します！」と。もう少し自分を研究しろよ！と、あの夜の自分を小一時間、問い詰めてみたいです。

と、自虐的なことを書いておりますが、実はまんざらでもなく、来年度に岐阜で予定されております秋季シンポジウムは是非でも成功させたいと今から息巻いております。1年間よろしく願いいたします。

組織部



部長 林 正恵

(近畿)

この度、組織部長に就任いたしました近畿青税の林正恵と申します。

全青理事になってまだ2年目。周りのこともよくわからないうちにこのような大役を仰せつかり身の震える思いではありますが、引き受けたからには精一杯努めさせていただきますので、1年間どうぞ宜しくお願い致します。

組織部といたしましては、本年度も昨年同様、全国青年税理

士連盟の組織拡充を目標とし、会員獲得と単位青税の存在しない地方における組織拡大活動を検討していきたいと考えております。

組織拡充には、会員皆様の情報が何よりとなります。お知り合いの税理士の方で青税に興味をお持ちの方がおられましたら、是非、お知らせください。

会員皆様のご協力なくしては全国青年税理士連盟の発展はないものと考えております。どうか皆様からは率直なご意見を頂戴し、ご支援頂けますよう宜しく御願い致します。

厚生部



部長 櫻井 重之

(名古屋)

この度、全国青税の厚生部長を仰せつかりました名古屋青税の櫻井重之と申します。全国青年税理士連盟におきましては、理事や広報部の部員として名を連ねたことがあるぐらいで右も左もよくわかっておりません。

聞くところによりますと来年の全国大会が名古屋で行われる為、慣例により名古屋から厚生部長をとという事でこうなった次第でございます。

こんな私ではありますが、名古屋青税に入会してからはや6年、そのうちの5年間を厚生部

に捧げております。この名古屋での経験を生かし、来年の全国大会を成功に導くべく頑張っていくつもりでおります。

どんな厚生行事も参加していただける方があって、初めて行うことができます。会員のみなさんが喜んでいただけるよう、企画や旗振りに力を注ぎますので、積極的なご参加、ご協力をお願いいたします。

一年間、よろしく願いいたします。

法 対 策 部



部長 坂田 覚

(東京)

この度、法対策部長に就任しました東京青税の坂田覚です。重責を感じておりますが一年間頑張りますのでよろしく願いします。

法対策部の活動方針は、①税理士法改正への対応②税制についての取り組み③納税者権利擁護のための推進運動④公益的事業の充実となっております。いずれも全国青税の活動にとって欠かすことのできないテーマであり、月一回の理事会や合宿形式の勉強会等を通じて全国青税の主張を広く多くの方にアピールしていきたいと思っております。

特に税理士法に関しては日税連において具体的な改正項目を

列挙する作業に入るなど例年より重要度は増してきております。会員の皆様のご意見、ご指導を賜りつつ、来るべき税理士法改正が全国青税にとって実りある結果となるよう検討、活動していきますのでよろしくお願い致します。

広 報 部



部長 渡邊 和美

(埼玉)

この度、広報部長に就任いたしました埼玉青税の渡邊和美です。

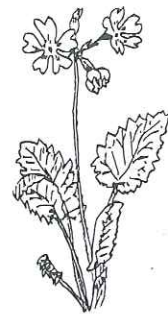
菅原会長とは、初めて私が参加した全国大会の時に話をさせていただき、学生時代にクラスは違えども同じ時期に勉強して

いた事実を知り、菅原会長のお誘いであれば、これは引き受けなければならない！と思い今回に至った次第でございます。

全国青年税理士連盟では、理事会に何度か出席させていただきましたが、初心者といっても過言ではありません。広報部長の経験は、埼玉青税で2年程ありますが、全国規模での部長職となると不安でいっぱいです。先輩方からいろいろと教えていただき、頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

広報部の活動は主に広報誌の発行です。イベント関連での原稿の依頼やイベント会場での写真のお願いをする事が多いと思いますが、ステキな笑顔を写真で撮らせて下さい。

一年間、よろしく願いします。



埼玉県の県花「さくらそう」

2008年度特別委員会

担当部	委員会名称	委員長	単位会
総務部	日税連担当委員会	川崎 賢二	岐阜
	三青会担当委員会	堀内 健二	神奈川
	全国大会実行委員会	小関 剛史	名古屋
	会長等推薦審議委員会	中西 毅	個人(愛知)
	国際交流特別委員会	東本 真依	個人(愛知)
研究部	秋季シンポジウム実行委員会	五十棲 裕	近畿
広報部	ホームページ運営委員会	田村 雅幸	埼玉
法対策部	税理士制度対策委員会	池田 充	東京
	税制対策委員会	坂井 昭彦	近畿
	納税者権利擁護推進委員会	鳥居 翼	名古屋
	公益的業務対策委員会	池尾 彰彦	千葉
	研究活動実行委員会	城田 英昭	神奈川
	海外視察特別委員会	川崎 賢二	岐阜

全国青税連

さいたま大会

2008.8.2

ラフレさいたま

前夜祭

韓国考試会の皆さんと懇親・交流

平成20年8月2日のさいたま大会の前夜祭は、参道うなぎ茶屋 氷川まんまるで開催されました。埼玉県の浦和（現在のさいたま市）と言えば鰻が有名であり、韓国税務士考試会の皆さんとうなぎのコース料理を賞味しました。料理の中にはもちろん、うなぎ、うなぎの白焼き、また、鯉のあらい等もあり、まだまだ暑い夏の夏バテ解消になったのではないかと思います。

二次会は、場所を変えてカラオケに行きました。

向かう途中でその日の大宮駅東口周辺では、中山道まつりが開催されており、最後の盛り上がりで賑わっているところを見物しながら向かいました。

カラオケでは、考試会の全員で歌い、ソロやデュエット等で盛り上がり、終始和やかに終了しました。



前夜祭の会場で



浦和といえばウナギ



安会長を囲んで



二次会のカラオケ



中山道まつりの山車・神輿を見物

第1部 単位会活動の発表

「わが青税自慢」

今回のさいたま大会は、記念講演ではなく、いつもとは違う雰囲気での第1部を開催しました。各単位会の新執行部による「わが青税自慢」として、今現在での問題点や自慢話など、単位会ごとの発表形式で行われました。

研究活動と実務研修活動に力を入れている会や、家族例会、年齢制限、また慶弔規定が充実している会など他の単位会の活動内容を聞き、いろいろ参考になりました。新執行部の皆さん頑張ってください。

最後には、各単位会の代表が壇上に上がり、川崎前会長の総評があり、全国青税のつながりが一つのまあるい和となったのを実感できたのではないのでしょうか。

(埼玉青税 渡邊和美)



司会のお二人



川崎前会長から新代表へのエール



東京青税



神奈川青税



千葉青税



名古屋青税



岐阜青税



近畿青税



埼玉青税



各単位青税の新代表の皆さん

第2部 第41回定時総会

新会長に菅原祥元会員を選出



挨拶する菅原新会長



総会会場

2008年8月3日、全国青年税理士連盟の第41回定時総会（さいたま大会）がさいたま新都心の「ラフレさいたま」にて開催されました。総会は片山泰宏副会長の開会の辞により定刻どおり始まり、来賓8名が紹介され、川崎賢二会長より挨拶がありました。その後引き続き、東京青税の徳田匡泰会員、近畿青税の金澤好起会員、名古屋青税の小関剛史会員の3名を議長に選出

し、以下の議案審議が行われました。

【議案審議】

第1号議案（2007年度事業報告承認の件）は清水靖総務部長より議案書を補足する形で説明がなされ、第2号議案（2007年度財務諸表並びに収支計算書承認の件）は西藤友美子経理部長より決算額についての報告がなされました。続いて、根岸進会

計監事より会計監査報告がなされました。第1号議案と第2号議案は一括審議ということで、議長より説明があり賛否をとったところ賛成多数で可決されました。

次に、第3号議案（役員改選の件）については、高谷真会長等推薦審議委員長より推薦の経緯や推薦者の経歴などの説明がありました。その後、新役員名簿の議案提案があり、拍手にて



第2部総会の司会



開会の辞



議長団



事業報告／清水前総務部長



ご来賓の方々



川崎前会長退任あいさつ

賛否をとったところ賛成多数により可決されました。その後、新旧執行部が入り替わり、新執行部より自己紹介が行われました。

続いて、第4号議案（2008年度事業計画承認の件）は坂爪勸新総務部長より、第5号議案（2008年度収支予算書承認の件）は大沼はるみ新経理部長より議案提案がされました。

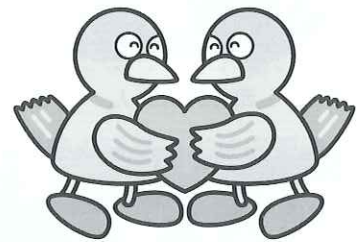
その後、質疑に入り、「厚生活動」、「書面添付制度」や「税務支援」などに関する質問があり、新会長の意向、また抱負を踏えての答弁がなされました。また「予算の立て方」に関する要望があり、今後検討をしていくという事で、第4号議案と第5号議案も一括審議の後、賛成多数で可決されました。

最後に、第6号議案（大会宣言採択の件）は東京青税の森智之会員によって高らかに読み上げられ、拍手をもって採択されました。

以上をもって総会の議案審議が全て可決承認されました。

議案審議が全て承認され、続いて、菅原祥元新会長より就任の挨拶があり、1年間の抱負を語りました。その後、日本税理士会連合会の池田隼啓会長をはじめ総勢8名の来賓の方々よりご祝辞を賜りました。最後に、岩井勇二新副会長の閉会の辞にて、予定時刻はかなり過ぎましたが定時総会が無事終了しました。

（坂爪勸・記）



埼玉県マスコット
コバトン



受付担当の皆さん



会場のラフレさいたま

第3部 懇親会

さいたま 真夏の夜を満喫



司会のお二人



乾杯!



川崎前会長へ感謝状贈呈



地元伝統芸能「見沼太鼓」で会場は盛りあがる



菅原新会長を囲んで



秋季シンポジウムの紹介
(近畿青税のPR)



埼玉県マスコット
コバトン



次回開催は名古屋です
(名古屋青税のPR)



埼玉の皆さん
お疲れ様でした

さいたま大会総括報告

「青税のまあるい和」

〈ご協力ありがとうございました〉

全国大会実行委員長 古橋 猪久磨

「さいたま大会」当日の8月3日は、全国大会の開催に相応しい暑い日になりました。さいたま新都心駅から会場のラフレさいたまに辿り着くだけでも熱中症になりそうな、36度を超える酷暑にもかかわらず、各地より約300名の皆様にお集まり頂き、盛大に大会を開催することができました。

今大会では講演会等に替えて、各单位会の「わが青税自慢」で皆さんに活動の発表をお願いし、大変お世話になりました。お蔭様で全員参加型の総会企画が実現できたのではないかと考えております。又、特色の少ない埼玉故、実行委員会では各单位会の総会に、半ば強引にお邪魔させて頂き、動員のお願いをいたしました。迷惑がらずに、気遣いまでして下さった単位会

の皆様、本当にありがとうございました。改めて「さいたま大会」にご協力下さいました皆様に心より感謝申し上げます。

〈大会までの道のり〉

昨年3月確定申告期明け、ボーリング大会終了後、厚生部幹事の私は、部長と共に二次会まで残っていました。時計の針も次の日に近くなってきた頃、全国大会受諾の話になりました。そして委員長選出の話で私に水を向けられた時、「これも青税に対する恩返しかな？」と酔いも手伝い、妻の承諾を条件に内諾をしてしまいました。しらふに戻って翌日、「事務所の仕事に支障はきたさないから」と妻を説得し、実行委員長就任と相成りました。当時埼玉青税では次期代表の選考に大変苦勞して



おり、9年前の代表幹事伊東洋子会員が再登板するという状況も、同期である私の背中を押したように感じます。それから、大会の8月3日は、私の誕生日！結局、委員長就任は私の宿命だったのでしょうか？

でも大会準備は、易々とはいきません。大会当日は全国高校総体に重なり、宿泊施設の確保が無理な中での会場探し。浦和レッズと鉄道博物館の全国区以外に、皆さんを引きつけるものが無い事。どうしたら来ていただけか、これが一番の課題でした。そこで思いついたのが、各单位会参加型の企画です。各单位会に発表して頂く形式ならば、応援も含めて参加者も確保できると考えました。全国大会



お子さん連れのアットホームな大会（太鼓のレッスンを受ける）

は、地域の垣根を越えた交流の絶好の機会です。そこで、地域性や特色等を「わが青税自慢」として発表してもらえば、全国大会の趣旨にもピッタリだと考えたのです。しかし企画を詰めるのには時間もかかりました。

18名からなる実行委員会は大会前日まで実に17回開催されました。小所帯の埼玉青税では、実行部隊が全員実行委員という状態で、大会までの期間は、幹事会と委員会の同時開催で、通常活動にも大分影響がありましたが、幹事・実行委員の団結は、最後まで崩れることなく、一般会員参加者も巻き込んで、大会終了まで盛り上がりました。この絆は大きな財産として残っていくと感じています。

<大会本番>

一年以上の助走を経て大会当日がやってきました。天気はまったく問題の無い真夏らしい晴れ。しかし朝から温度計は30度を超えんばかりです。会場のラフレ埼玉では9時から準備を始め、11時30分の受付開始までには、準備万端整い、後は皆さんの到着を待つばかりとなりました。しかしなかなか受付が賑やかになりません。

第一部の「わが青税自慢」の

発表者は当然揃いましたが、思ったように会場の席が埋まりません。発表開始の12時30分は否応無しにやって来て、不安の中で開会の挨拶をしました。単位の発表は期待に違わず活動の特色を出して、代表幹事を中心に生真面目に語る会、かたや大勢で賑やかにパフォーマンスを繰り広げる会ありで、他会の活動を知る一助になったと自画自賛しています。定時総会が始まる頃には大分席も埋まってきて少し安心しましたが、まだまだ予想の数には開きがあります。総会は順調に審議も進みましたが、ご来賓の挨拶時間が予想を超えて、トリの北野教授には殆どお時間を差し上げられず大変失礼いたしました。

いよいよ大会もお楽しみの懇親会へ会場を移しました。心配していた参加者数も、懇親会の開始時には、会場一杯となり、やっと胸を撫で下ろしました。懇親会の冒頭では、菅原新会長から川崎前会長への感謝状贈呈のセレモニーを組ませて頂き、アトラクションの地元伝統芸能「見沼太鼓」では、太鼓レッスンに会場から参加者を募ったりと、埼玉のアットホームさを前面に打ち出した企画で、参加者の皆さんを包み込もうという計

画でした。

しかし、むしろ参加者の皆さんの熱気で盛り上げて頂いた感じでした。特に、秋季シンポPRでの近畿青税さんと、来年の全国大会PRでの名古屋青税さんの強力なパワーに圧倒されました。担当する埼玉青税が全国大会という御神輿の先頭に立っての旗振り役だと思っていましたが、実際は、参加して下さった青税会員の皆さん全員で作った御神輿の上に埼玉青税が載せてもらったのではないかと感じました。「青税のまあるい和」を確かめましようと呼びかけたのが私達ですが、結局「青税の和」は元々存在していて、それを繋げていく役割を担ったのが自分たちだったのです。懇親会の終了と共にそれを強く感じました。参加して初めて判る全国大会の意義・価値です。大切なバトンを来年の名古屋青税さんに引き継ぎます。PRでのあのパワーをさらに増幅させて、私たちを楽しませてくれると期待しています。来年の夏は皆さん名古屋でお会いしましょう！



青税ならではの親子連れでの司会



埼玉県のマスコット「コバトン」と一緒に

韓国税務士考試会との勉強会

8月4日／第一イン池袋



恒例のプレゼント交換

いるプレゼント交換と続き勉強会が始められました。

勉強会は考試会の Son Kyung-Sikさん（人名は名刺のママ）講師で、「税理士が税務会計プログラム所有をとおして業務領域の拡大と新収益モデルを開発」というテーマのもと、税理士による税理士専用税務会計プログラムの開発とその後の発展状況について講義が行われました。

日本の税理士業界にとっても非常に参考になるものであり、講義後も活発な質疑が行われました。

このような勉強会を企画していただきありがとうございました。また、当日の通訳をいただいた東本会員には大変なことだったと思います。お疲れ様でした。

（東京青税 松嶋康尚）



司会

全国青年税理士連盟第41回さいたま大会の翌日である、平成20年8月4日（月）、第一イン池袋において韓国税務士考試会（以下、考試会）との勉強会が行われました。

今回は一般会員への呼びかけを行ったということもあり、たくさんの方の会員に来ていただくことが出来ました。

まず始めに坂田覚全国青税新法対策部長より、第30回ソウル大会からの全国青税と考試会との交流の歴史に関する説明がありました。その後、菅原祥元全国青税新会長の挨拶、考試会安洙男会長の挨拶、恒例となって



会場から活発な質問も

あしがき

さいたま大会では、真夏の暑い中、参加された皆様お疲れ様でした。大会も無事に終了し、菅原新執行部がスタートしました。

今号は、新執行部の紹介と全国大会に関する記事となっています。

大会当日は、広報部長として初仕事となる写真撮影なのにもかかわらず、カメラの充電が無くなり、他の会員のカメラを借りての撮影でした。

カメラを貸して頂いた会員、写真を提供して下さった会員の皆様、ご協力ありがとうございました。今後は、予備の電池を持って秋季シンポジウムにも参加する予定です。

次号は、秋季シンポジウムの記事を予定しております。各単位会の皆様には、それぞれ執筆をお願いする予定ですので、ご協力のほどよろしくおねがいします。

最後に、原稿を執筆していただいた会員の皆様、お忙しいところありがとうございました。

（K.W）

2008 全青税 秋季シンポジウム in Kyoto

テーマ 「来るべき税理士法改正へ向けての提言」

日時 平成20年11月16日(日) 受付12:00～ 開会式12:50～

場所 京都ホテルオークラ

シンポジウム/4F 暁雲の間
懇親会/3F 翠雲の間

〒604-8558
京都市中京区河原町御池
TEL.(075)211-5111
FAX.(075)254-2529
<http://www.kyotohotel.co.jp>

PROGRAM

受付 12:00～

開会式 12:50～

各単位青税発表	13:00～13:25	岐阜「補助税理士」
	13:30～13:55	神奈川「税理士の使命」
	14:00～14:25	千葉「試験制度と資質向上」
	14:30～14:55	名古屋「税理士の存在意義と社会的地位」
休憩	14:55～15:10	～自治権を中心として
各単位青税発表	15:10～15:35	東京「無償独占と規制改革」
	15:40～16:05	埼玉「資格取得制度」
	16:10～16:35	近畿「税理士の資質の維持向上」
閉会式	16:35	
会場移動		
懇親会	17:00	
終了	19:00	

会場・交通のアクセス

- 地下鉄東西線「京都市役所前駅」直結
- JR京都駅より車で約15分
- 名神京都東I.C.より車で約20分
京都南I.C.より車で約30分
- 関西国際空港より車で約120分

